

2017年8月1日

改定 2017年8月8日

— 社外向け情報とし、社内情報を一部割愛します —

<月例会用>

2017年 8月

月次経営報告の為のスピーチメモ

(株) アイヴィス

代表取締役 石和田 雄二

## 月次経営報告（2017年8月） <目次>

### 1. はじめに

{8月、公私多忙の夏本番、仕事は焦らず休まず計画的に }

### 2. 第2四半期中盤戦

{開発も営業も新業務が立ち上がる時 }.

### 3. 7月の試算表、営業管理データから

{6月の確定試算と7月の営業見通しから見えるもの }

### 4. 8月を前に今期のレビュー

{需要先行の先端技術案件の成長と従来技術案件の停滞 }

### 5. 8月以降の営業、技術、業務

{従来業務の延長で新たな価値を創造する仕事を探す }

### 6. 話題の案件提案、クローズアップ

{・・・社内情報により、一部割愛します・・・}

### 7. ITサービスのトレンドと当社の対応

{アメリカのビッグ5に見るITサービスのトレンド }

8. 景気動向と外部経営環境の変化を読む

{何故、高収益なのか、20年以降への継続性 }

9. 8月度の「業務並びに要員計画」のポイント

{ほぼフル稼働だが、内在する停滞感と棲分けへの新事業}

{・・・社内情報により、一部割愛します・・・}

10. 終わりに

{現状否定からの再出発}

<< 8月の番外広報メッセージ >>

◎ 人に学ぶ、言葉に学ぶ

作家 里見 淳

～ 朝日新聞 7月31日 「折々のことば」から

## 1. はじめに

{8月、公私多忙の夏本番、仕事は焦らず休まず計画的に }.

- 先週は大型案件への提案があり、忙しい1週間だった。  
～ 運を呼込むのも仕事の内、焦らず休まず計画的に
- 上野のハス、ムクゲ、キョウチクトウ、サルスベリ、夏の花が満開だ。  
夏の花は元気の素、心機一転、気を取直し頑張ろう。

## 2. 第2四半期中盤戦

{開発も営業も新業務が立ち上がる時 }

- 8月は、年度の業務が勢いをつけて立ち上がる時だ。
- これから、各部門の案件が動き出す。

人材不足を解消、営推+部門で新業務本格立上げへ

## 3. 7月の試算表、営業管理データから

{6月の確定試算と7月の営業見通しから見えるもの }

#### 4. 8月を前に今期のレビュー

{ 需要先行の先端技術案件の成長と従来技術案件の停滞 }

☆ 何事も、問題点の改善策は、PDCAを回すことから

～ 認知はAIの初歩、AI高度化もPDCAのPから

目標計画なき所に評価なく、評価なき所に学習なし。

#### ○ 現場に学ぶ部門単位の課題、問題点とその解決策

<ARD 部> P: 内外との連携進め、流れに乗る

...

<EITS 部門> P: 社内開発含む良質な案件増やす

...

<MITS 部門> P: NTT 新案件動かす人材の確保

...

<BITS 部門> P: 高度実装能力活かす次業務確保

...

<TITS 部門> P: 総合力強化へ主体的人材を養成

...

<WITS 部門> P: 協働体制を活かす自立体制構築

...

○ 黒字化見通しなき赤字は整理対象、2部門の実態は

☆ EITS の赤字解消へ何が問題で何が必要なのか

=> 経験活かす業務、協働可能な一括案件の受注促進

☆ WITS の赤字解消へ何が問題で何が必要なのか

=> 内外からの人材補給と複数業務受注で山を崩す

## 5. 8月以降の営業、技術、業務

{従来業務の延長で新たな価値を創造する仕事を探す }

○ 仕事は社員活躍の場、営業は会社の総合営業力で戦う。

良い仕事の流れを作るには会社のブランド力を高める、  
ARD という研究部門の存在、高度情報資格取得者の数、  
若くて優秀な素材の存在、専門性の高い各部門の開発  
及びサービス実績、そして、組織規律と広報活動である。

○ 1部5部門、6つの技術開発部門の中央集権化の推進

☆ 部門自立化で協働協業あり、その上の中央集権化

☆ 中小企業の和でなく、専門連携による積の効果追及

☆ 公平な計数的評価と業績拡大指向が安定成長の基盤

- 営業活動も中央集権、情報を中央に集めて総合判断
    - ☆ 営業のターゲット案件の優先度を明確化する
    - ☆ 営業の育成を優先、PDCAを回し失敗から学ばせる
  - 資源活用と人事異動、考課の最終判断も中央指導
    - ☆ 仕事を動かすには、仕事を立ち上げる人を選ぶ
    - ☆ 人材の流動化に向け、プロジェクト編成で人事異動
  - 全プロジェクトでバランス、月次要員計画は中央作成
    - ☆ 月次の要員計画は、現場案を活用して営推が作成
    - ☆ 現場を超える問題の中央集中管理で問題の早期解決
- ☆☆ 中央集権には民主・合理的な組織と人材が前提となる
- => 「月次の業務と要員計画」参照

準備年の目標の一つは、この組織を機能させること

## 6. 話題の案件提案、クローズアップ

{・・・社内情報により、一部割愛します・・・}

## 7. ITサービスのトレンドと当社の対応

{アメリカのビッグ5に見るITサービスのトレンド }

☆ 社会基盤のITサービスを独占する米プラットフォーマー5社

ネット検索、クラウド、スマホ、SNS、優位な自社技術で顧客の大半を抑えた米国5社、グーグル、アマゾン、マイクロソフト、アップル、フェイスブックが独禁法を  
超え益々強くなり、他社の没落と高い参入障壁を築く。

○ 顧客データを抑えた5社は時価総額もトップで年4割増、

従来、コンピュータの世代交代は大型機からWS、PC、  
ネットサービス、SNSと新たな旗手登場で世代交代が進んだ。

今回は相手が巨大で新技術を持っても容易に参入不能、  
売上基準の独禁も素通り、寡占化は将来に大問題残す。

○ AIやIOTの先端技術も人材もビッグ5が囲い込む

α 碁のデープマインドもグーグル傘下を選択、自動走行、

AIスピーカ、対話応答、医療分野やエネルギー制御等

グーグル(アルファベット)傘下の方がメリット大きい。

アマゾンはAWSで、MSもAZUREで、世界展開の

クラウド軸に、先端技術と顧客とサービスを囲い込む。



- ITサービスの軸は大手ITベンダーから顧客に移る  
国内も米5社の影響力浸透、ITベンダーの競争力低下、  
技術的にも価格的にも相対的開発力を失う中、利用側の  
大手顧客は便益性を享受、IT開発の主体は顧客に移る
- その他の7月時点の主要ITトピックス
  - ① 第5世代高速無線規約（5G）、世界で規格統一
  - ② 急速拡大の歪か、仮想通貨取引業者間で分裂騒ぎ
  - ③ 中国AI急拡大、百度、自動運転でアポロ計画発表
  - ④ 五輪前哨戦ロボカップ、初回開催地名古屋で開幕
- 新聞紙上に毎日乗る顧客サイド独自開発AI開発事例
  - 総務省： 自然や都市変化の予兆分析で災害予測
  - 厚生省： 診療報酬請求審査を代行、支払効率化
  - 産総研： 衛星画像で変化識別、都市開発を解析
  - 大和総研： 日銀レポート文章解析で地域別景気分析
  - 国立癌センター： 特徴学習し内視鏡画像で病変判別
  - 弘前+東北大： 方言特徴学び津軽弁を標準語に
  - NTT com： 監視カメラの動画分析で人物画像検索
  - パナソニック： 車内眠気予測技術を開発、居眠り防止

## 8. 景気動向と外部経営環境の変化を読む

{何故、高収益なのか、20年以降への継続性 }

☆ 世界経済は政治リスクとは別に順調に推移している。

中国経済が内需中心に元気なのと、米国経済も孤立主義とエネルギーコスト減で、9年連続でも好景気を持続、それに世界的金融緩和の資金ダブつきが株価を支える。

国内も外需のお蔭で鉄鋼も建機も鉄道も半導体装置も電子部品も自動車も元気、将来不安で内需低迷するが、頼みの円安基調は続く見通し、暫くは景気回復が続く。

リスクは共産党大会後の中国景気と米国の北朝鮮政策

○ 日本は、25年まで安定した成長が続く可能性が高い。

経済財政白書が7月に出たが、急速に進む日本の少子高齢化は、旨く対応すれば生産性の向上を齎し、豊かな日本を築く上でプラスとなる筈だ、と楽観論を展開。

政策的に重要なのは、働き方革命とIT特にAIの活用、19年にラグビーW杯とG20の会議、それに続く五輪、財政投資拡大と訪日外国人客急増、自動走行車と5G、ITで生産性向上が進めば25年大阪万博まで切目なし。

9. 8月度の「業務並びに要員計画」のポイント

{ほぼフル稼働だが、内在する停滞感と棲分けへの新事業}

☆ 8月の要員アサインを見ると **ARD** 案件のみが目立つ

{・・・社内情報により、一部割愛します・・・}

- 全体から見れば8月の稼働は順調、9月は更に改善。
- 来月は現場部門の実装が増加、BP受入れ準備が必要

## 10. 終りに

{現状否定からの再出発}

☆ 8月の現状認識は、当社は今、非常に良い立場にいる。

- ◇1 日本の景気はこの先、8年近く安定成長する
- ◇2 ITサービスは課題の多い日本の将来を支え得る  
基盤産業であり、潜在需要は長期安定、尽きない。
- ◇3 当社は社員規模や顧客で十分な企業体力を有し、  
平均年齢33歳、優秀な若手を擁し成長力もある。
- ◇4 ITサービスは、今、大きな変革期の渦中にあり、  
旧体制が崩れる下剋上時代、成長機会は無限だ
- ◇5 当社も、今こそ高い目標を掲げて挑戦する時だ。

☆ 今期は、来年度から始まる新3か年計画の準備年、  
21年3月期、技術者500人、売上50億投資5億に  
至る基盤構築、成長への技術転換と業務開拓の年。  
現状否定、目標高く努力し成長への潜在力を高め、  
この潜在成長力を新3か年計画のスタート台としたい。

☆☆ 我々の未来を拓く準備年、目標高く頑張ろう。

<< 8月の番外広報メッセージ >>

◎ 人に学ぶ、言葉に学ぶ

朝日新聞 7月31日の「折々の言葉」の中にあつたことば、  
作家 里見弴 の随筆からの引用

里見弴は、白樺派の作家有島武郎の弟、随筆家としても有名。

『世間』の天秤は、

決して一方に跳ね上がりっぱなしにはならない」

世間はデタラメに動くが、天秤の竿が垂直に立ったまま動かなくなるようなことはない。

世渡り上手な人や人の上に立つ権力者、指導者は、『世間』を思い通りに動かせると誤解するが、それは一時的なもので、長くは続かないことを知るべきである。

続けて言う・・・

『世間』を甘く見てかかった仕事に、成功なり勝利なりの

完全な姿で終つたものは、未だかつて一度もない」

一時的な成功や勝利で、いい気になってはいけない。

勝つためには、冷静で謙虚、絶え間ない地道な努力が必要だ。

当社も、チャンスの前に心を引き締めてかかりたい。(了)